

# 岡山の牛肉を語る上で 欠かせないスポット、 『岡山県営食肉地方卸売市場』

岡山県営食肉地方卸売市場では、国際標準化機構 (ISO) が定める品質管理システムにより、食肉の品質向上や衛生管理を行っています。中でも、市場内の卸売会社である岡山県食肉荷受株式会社と、部分肉処理会社の株式会社岡山県食肉センターは、最高水準の衛生管理をしている団体に認められる「ISO9001-HACCP(ハサップ)」の認証を取得し、より安全で

衛生的な食肉を提供できるよう力を入れています。また、すべての牛肉はトレーサビリティシステムに対応。パックに付いているラベルに書かれた10ケタの個体識別番号により、どこで生まれ、どこで飼育されたか、どの経路で流通した牛なのかなどの履歴を確認できるようになっています。どのように育てられた肉か確認できると、より安心・安全を感じられますね。

## ◆国産牛肉の、店頭での表示

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 国産牛 | 品種に限らず、飼育・育成された期間が最も長い場所が国内である牛 |
| 和牛  | 黒毛和種、無角和種、褐毛和種、日本短角種の4種類の牛      |
| 交雑牛 | 和牛のオスと乳用種のメスから生まれた牛             |

## 食肉フェア

例年12月上旬に行われる大人気のイベント。県産食肉などの試食が楽しめるほか、お得な価格で食肉を購入できる。毎年多くの人でにぎわっている



「2019新春岡山県枝肉共励会」において、「県産牛肉を盛り上げていこう」とあいさつする伊原木知事



岡山県  
もっと!

岡山県民の「どねえなん?」にお答えします!

Motto! honma no toko done-nan?

岡山県の魅力をホームページで配信中!

どねえなん?

ちょっと辛口で好奇心旺盛な女の子「どねえなんちゃん」が、岡山県の魅力や取り組みについてツッコみます!

今月のテーマ

## おかやまの牛肉

岡山が誇る自慢の牛肉って何?

今密かに注目されている

岡山育ちの牛肉を紹介します!

# 和牛のルーツは 岡山にあるって知ってる?

「岡山県は和牛の産地」というイメージってありますか?

実は岡山県は古くから良質な牛肉の産地として知られ、和牛のルーツは岡山にあるといわれているんですよ。今回は県内産の牛肉事情について紹介します!

## 今、イチオシ! 「おかやま和牛肉」

### 「おかやま和牛肉」とは...

岡山生まれの黒毛和種の牛を県内の指定生産JA管内の農家で育て、岡山県営食肉地方卸売市場に出荷。公益社団法人日本食肉格付協会から、「肉質等級(※1)3等級、BMS(※2)4)以上と品質評価されたものです。「肉質等級4等級、BMS7)以上になると「特選おかやま和牛肉」に認定されます。一頭一頭手塩にかけて育て上げられています。

(※1) 肉質等級:肉質のきめ細かさや光沢の程度など4項目を、それぞれ1~5の等級で評価。このうち最も低い等級が肉質等級となる  
(※2) BMS:枝肉の霜降り度合のこと。12段階で評価する



霜降りが美しく、和牛独特の脂の甘みも感じられる「おかやま和牛肉」。みずみずしい表面の光沢はよい肉の証

## ニューフェイス! 岡山市場発 F1 牛肉「清麻呂」



### 「清麻呂」とは...

黒毛和種のオスと乳用種(ホルスタイン種)のメスから生まれた交雑牛(F1)を、指定生産農場で育て、岡山県営食肉地方卸売市場に出荷。その中でも、公益社団法人日本食肉格付協会から「肉質等級2等級、BMS3、BCS(肉色)3~4、枝肉重量380kg以上」と品質評価されたものが「清麻呂」です。和牛のおいしさを受け継ぎつつ、赤身と脂肪のバランスが取れた肉用牛です。



和牛よりリーズナブルながらも、和牛に引けをとらないおいしさ

県内の主なブランド和牛

千屋牛、つやま和牛、なぎビーフ(宗義和牛)、おかやま和牛肉、備中牛

県の北部に産地が多いんじゃないあ~

## 知ってる? 岡山和牛の歴史

中国地方と兵庫県で優良な牛は「蔓牛(つるうし)」と呼ばれています。最古の蔓牛は約240年前に新見市で育てられた「竹の谷蔓(たけのたにつる)」。大きな体格で乳の出もよく、岡山和牛の起源といわれています。そして、岡山和牛の名声を不動のものにしたのが千屋村(現在の新見市千屋地区)の豪商の太田辰五郎(1802-1854年)が育てた「千屋牛」。「竹の谷蔓」のメスをもとに改良され、より体格が大きくなりました。

現在の岡山和牛や全国の和牛の血統をさかのぼれば、多くが大正9年に新郷村(現在の新見市神郷地区)に誕生した「第13花山(はなやま)号」にたどりつきます。第13花山号は「竹の谷蔓」にルーツを持ち、体高が142.3cmと体格がさらによくなりました。岡山県農林水産総合センター畜産研究所(久米郡美咲町)に骨格標本が展示されており、岡山和牛の歴史に欠かせない存在となっています。



新見市千屋にある太田辰五郎の碑



「第13花山号」の骨格標本

